

山陽曰影面山陰曰背面是以百姓安居天下無事焉。

〔日本書紀通證成務〕孝德紀方字訓多多佐與古佐萬葉集云多多佐爾毛可爾母與己佐母○申前食貨志秦孝公用商鞅壞井田開阡陌註南北曰阡東西曰陌○略中大戴禮曰凡地東西爲緯南北爲經此與我邦相反。

〔萬葉集雜歌〕藤原宮御井歌

八隅知之和期大王高照日之皇子龜妙乃藤井我原爾大御門始賜而埴安乃堤上爾在立之見之賜者日本乃清香具山者日經乃大御門爾春山路之美佐備立有畝火乃此美豆山者日縛能大御門爾彌豆山跡山佐備伊座耳高之清香山者背友乃大御門爾宜名倍神佐備立有名細吉野乃山者影友乃大御門從雲居爾曾遠久有家留高知也天之御蔭天知也日御影乃水許曾波常爾有米御井之清水○略短

〔伊呂波字類抄於地理〕小路

〔書言字考節用集一乾坤〕小路

〔日本釋名地上地理〕小路 こみち也うはこの字の引音也

〔倭訓栞前編九〕こをぢ 小路をよめりをはこの響き也大路にむかへていへり字書に徑は小路也と見ゆ院中の女房に小路名あり綾小路梅小路勘解由小路等也江戸に數小路式部小路浮世小路などいへれど又よこ町といふ也催馬樂にこんぢと見ゆ

〔俚言集覽古天地〕小路 倭訓栞コヲヂ小路をよめりヲはコの響也○申愚按コの音ならばオ也コヲの假字にあらず此はコミチのミをウと云コウの假字なるべし

〔物類稱呼〕小路 こうぢ 京都にて稱す江戸にて横丁と云但式部小路、蔽小路又松坂にて小路と云勢州山田にて世古と云